



日本初のプルサーマルの 商業運転を止めるために

玄海原発プルサーマル裁判の会 江口美知子



九州の北西部、玄海に■している佐賀県の玄海原子力発電所3号機で2009年12月2■、
■本初のプルサーマルの商業運転が始まってしまいました。

06年に佐賀県は、2万筆の反対署名を無視して事前了解。その後も、5万筆もの住民投票条例制定請求を県議会は否決し、全国47万筆以上もの署名でも止まりませんでした。それ以外にも、数十回もの要望書、質問書などの私たちが市民の声に対して、県も九州電力も「国が安全だと言っているから安全」と繰り返すばかりでした。

原告・支援者を大募集！

こうしたことから、「プルサーマルはいらない。安心して普通の生活を送りたいだけ」と私たち市民有志が裁判の会を立ち上げ、10年4月下旬に九州電力を相手取り裁判に訴えることになりました。

裁判の論点は、現在使われているMOX（ウラン・プルトニウム混合酸化物）燃料は、ウラン燃料の基準も満たさない粗悪■である点と、プルサーマルで出る使用済みMOX燃料の行き場がないという2点です。玄海に続き、伊方、浜岡と、■本のプルサーマル政策を決める裁判ともなり得ます。

現在、原告と会員及びサポート会員を募集しています。誰もがができる形で「イヤだ」の声を上げていきませんか。全国からのご支援お待ちしています。一緒にプルサーマルを止めましょう。

詳しくは「玄海原発プルサーマル裁判の会」のホームページ (<http://genkaip.tu.jp/>) まで。